

在日米陸軍司令部の再編等とキャンプ座間の将来の在り方について

【今般の再編に伴う地元の負担に関する認識】

- 貴市はかねがね、国防は基地の所在する一部自治体やその周辺住民のみの負担の上になり立つものではなく、国防の重要性から、それに伴う負担を国民全体が共有し、担うものであると主張されているが、この点について、政府としても同様に考えている。
- 政府としては、キャンプ座間周辺住民にこれまで様々な負担を担ってきていただいていることについて深く認識しているが、今般の在日米陸軍司令部の再編等に当たり、新たな負担をお願いすることになり、国防の重要な一翼を担っていただくことになることについて重く受け止め、地元の理解を得るために一層の努力をしていく必要があると考えている。
- また、貴市においては市総合計画の中で、市是として基地の整理・縮小・返還を基本姿勢として掲げられており、真の負担軽減は将来にわたる市是の着実な具現化にあること、こうした観点から、貴市が「キャンプ座間の基地縮小について最大限の努力をする」とした昭和46年の覚書（横浜防衛施設局長と座間町長（当時）が取り交わしたもの）を確実に履行するよう強く求めていることについては、政府として十分に認識し、かつ理解している。

【安全保障の基本方針】

- 我が国は、これまで、自ら適切な規模の防衛力を整備するとともに、日米安全保障体制の円滑かつ効果的な運用を図ることにより、国の安全を確保してきたが、予測が困難で、より多様化、複雑化している新たな安全保障環境の下において今後とも平和と安定を維持していくためには、我が国としてより一層の努力が求められている。
- 「防衛計画の大綱」（平成16年12月10日、閣議決定）は、このような認識の下に定められているが、その基本方針は、我が国に直接脅威が及ぶことを防止し、万一脅威が及んだ場合にはこれを排除するとともに、国際的な安全保障環境を改善して我が国に脅威が及ばないようにすることを目標とし、我が国自身の努力、同盟国との協力及び国際社会との協力というアプローチを統合的に組み合わせることにより、これを達成することとしている。
- 国の安全を確保する上で根幹となるのは、自らが行う努力であり、自らの国は自らが守るとの意志の下に、専守防衛を基本的な方針として、国として総力をあげた取組により直接脅威が及ぶことを防止すべく最大限努めるとともに、国際的な安全保障環境の改善による安全の確保に資するため、外交、経済を含む幅広い分野において、国民の理解を得て主体的・積極的に取り組むことが重要と認識している。
- 防衛力の在り方については、「防衛計画の大綱」において、おおむね10年後までを

念頭に置くと明示しており、また、5年後（平成21年）又は情勢に重要な変化が生じた場合に、その時点における安全保障環境、技術水準の動向などを勘案し検討の上、必要な修正を行うこととされ、適宜見直しが行われる。

【地元負担の軽減に向けての具体的な努力についての認識】

政府としては、安全保障に関する日米間の緊密な対話を通じ、地域の平和と安定にとって必要な米軍の抑止力を維持しつつ、時代に即した米軍とのパートナーシップの構築に向けて、両国の役割及び任務について検討を行うとともに、米軍施設・区域に係る過重な負担軽減にも留意することが重要であると考えている。

その際、役割及び任務についての検討の進展状況や安全保障環境等の変化なども考慮し、また、時代に即した米軍とのパートナーシップとともに地元の意向も十分に踏まえつつ、米軍施設・区域及び兵力構成の在り方を固定化することなく、当該施設・区域の必要性に関しても、我が国として主体的に不断に検討・精査を行い、基地の整理・縮小や運用の改善に向けて適宜必要な措置を講じるなど、一層の努力をしていくことが肝要であると認識している。

特に、今般の再編においては、人口密集地に所在する米軍施設・区域については、「特別の注意が払われる」との方針の下に検討が行われたが、この点を十分に踏まえるとともに、市是をもって貴市がキャンプ座間についてかねがね主張されている姿勢を真摯に受け止め、市是の着実な具現化を図るべく貴市が履行を求めている覚書における「キャンプ座間の基地縮小」など地元負担の軽減の具現化に向けて、貴市及び貴市住民の要望に応じられるよう、誠心誠意、最大限努めるべきものと認識している。

【米軍再編の日米協議における座間市への対応姿勢についてと今後への認識】

米軍再編に関する日米協議の過程において、平成17年10月29日の2+2文書（「日米同盟：未来のための変革と再編」）に至るまで貴市から適切な情報提供と説明を度々求められたことに対し、国は地元自治体に対し必ず事前に説明するとしながら、二国間の国防に関わる協議としての厳しさがあつたとはいえ、一方的な通告と受け止められるような対応となり、貴市及び貴市住民との信頼関係を損ね国として十分な説明責任を果たしていないとの指摘を受けるような事態になったことについては重く受け止め、不信感を招くようなことはあってはならない姿勢であつたと深く認識している。

今後、貴市及び貴市住民との関係についてより一層緊密な連絡調整と情報提供に努め、キャンプ座間に関連する諸課題の解決に真摯に取り組んでいくべきと認識している。